

平成 25 年度ジャーナル企画経営委員会議事録（第三回）

公益社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 25 年 10 月 29 日（火）
17 時 00 分から 19 時 00 分
2. 開催場所 TKP ガーデンシティ京都 7 階 撫子
(京都府京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町 721-1 京都タワービル 7 階)
3. 議長 委員長 川幡穂高
4. 出席委員
委員長 川幡穂高
委員 津田敏隆
委員 中村正人
委員 田近英一
委員 小田啓邦
委員 倉本圭

5. 議題

(1) ジャーナル進捗状況報告

川幡委員長よりジャーナル発刊の進捗状況に関して報告があった。10 月 28 日に Springer の「Progress in Earth and Planetary Science」web サイトが立ち上がり、投稿受付を開始した。既に投稿も行い、実際の編集作業を通して動作を確認している。

Editor への通知も早急に行う予定である。また連合の会員にも通知を行う。

(→10 月 30 日に Editor に対して英文と和文で通知を行った。次に、10 月 31 日に JpGU 全会員に対して英文と和文で通知を行った。また、11 月 1 日には、General Chief Editor 名で、海外の Editor に通知を送った。)

なお、特集号に関して議論があった。現時点で、特集号は予定していない。また、特集号については、肯定も否定もしていないので、特集号について問い合わせがあった時には、注意を払い質問に答えることとした。

(2) トムソンロイターの契約

小田委員より、トムソンロイター Web of Science の契約に関して報告があった。業者に見積りを依頼し、検討中である。EPS と PEPS が共同で契約する予定である。形式として EPS が契約し、PEPS が半額を払うという覚書を交わす方向で検討している。

(→10月31日に小田委員より契約は書類上も折半してできる可能性が高いことが代理店より連絡があったことが知らされた。)

(3) ジャーナル国際特別セッションの採択

ジャーナル国際特別セッション申請の採択を行った。ただしセッション開催の可否は最終的にプログラム委員会によって決定される。

また、全ての案件は額や人数に関して別途相談とする。旅費の支給については原則海外在住の者に限る。基本的に日本滞在期間に応じて旅費規程に基づいて算定し、支給額は後ほど決定する。

現時点で採択とした提案については、提案者に「提案がプログラム委員会で採択された場合には、ジャーナル国際特別セッションに関する旅費等のサポートを行う」という文面で通知することとなった。

(別添資料も参照)

資料 21

提案者 : Bjorn Mysen (Geophysical Laboratory)

タイトル : Impact of volatiles on the processes of formation and evolution of the Earth's interior

結 果 : 採択の方向だがより詳細な情報を問い合わせる必要がある。

資料 22

提案者 : Bjorn Mysen (Geophysical Laboratory)

タイトル : Aqueous fluids and hydrous melts in subduction zone processes: Experiment, modeling, and geophysical observations

結 果 : 採択の方向だが論文著者と論文タイトルを問い合わせる必要がある。

資料 23

提案者 : 多田隆治 (東京大学)

タイトル : Land-ocean linkages in East Asian marginal seas

結 果 : 採択した。

資料 24

提案者 : 新堀淳樹 (京都大学生存圏研究所)

タイトル : Characteristics of atmospheric waves in the mesosphere-lower thermosphere (MLT)

結 果 : 採択した。

資料 25

提案者 : Elena Petrova(Lomonosov Moscow State University)

タイトル : Natural hazards impacts on the society, economy and technological systems

結 果 : 共同コンビーナに詳細を問い合わせる.

資料 26

提案者 : 真木雅之(鹿児島大学)

タイトル : Extreme Weather in Cities(都市における極端気象)

結 果 : 採択した.

資料 27

提案者 : 田中宏幸(東京大学地震研究所)

タイトル : Particle Geophysics

結 果 : 採択した.

資料 28

提案者 : 片岡龍峰(国立極地研)

タイトル : Space Weather and Space Climate

結 果 : 採択した. ただしコンビーナに論文投稿を求める

資料 29

提案者 : 山本衛 (京都大学生存圏研究所)

タイトル : Study of coupling processes in Sun-Earth system with large radars and large-area observations

結 果 : 人数を 2 名にするなど検討の上採択する.

資料 30

提案者 : Gagik V. Poghosyan (Buniatian Institute of Biochemistry of National Academy of Sciences of the Republic of Armenia)

タイトル : Luni-solar gravitational, solar thermal tides and its modes in geospheres and in the biosphere

結 果 : 詳細を問い合わせた上で再度検討する.

資料 31

提案者 : 中川貴司 (海洋研究開発機構)

タイトル : Cause, age and evolution of plate tectonics: Advances in understanding thermo-chemical convection in oceanic plate-continental system

結 果 : 採択した.

資料 32

提案者 : 氷見山幸夫 (北海道教育大学教育学部)

タイトル : Future Earth - The Integrated Research for Sustainable Earth

結 果 : 採択した.

資料 33

提案者 : 石川裕彦 (京都大学防災研究所)

タイトル : 極端気象の観測と予測

結 果 : 採択した.

(4)セッションからの推薦者の確認

セッションコンビーナから推薦された発表を確認し推薦依頼の進捗状況を確認した. コンビーナからの推薦を受けたものを広く公表することも今後検討してゆくとした. それにより発表者のモチベーション向上が見込まれ, 大会とジャーナルの発展につながるためである.

(5)ホームページ準備の進捗状況の確認

雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」に関して, Springer の投稿サイトとは別に連合が独自に HP を用意する. ジャーナル広報用のホームページの準備の進行状況を確認した. 広報委員会と相談しながらジャーナル編集委員会がコンテンツを決めることはもちろんであるが, 当座最初の2年間については, 最終権限はジャーナル編集委員会がもつこととした. その理由は, 迅速な対応が望まれる時に決済に時間がかかるのを避けるためである.

今後, 連合のホームページ担当と兼任でジャーナルホームページ更新を担当するアルバイトの雇用も検討する.

(6)大会用アプリの準備の確認

スマートフォンアプリケーションの準備状況を確認した. 仕様の主な内容は, ①スマホ・ipad などの大会アプリ (検索システムの充実), ②会員個別情報発信ページ (アピールサイト), ③1 と 2 連動, 連合大会時公開, 発表補足 (資料) ページの開発となっている.

近日中に業者によるプレゼンテーションを開催し, 発注を決定する予定である.

(7)予算執行状況の確認

科学研究費補助金の執行状況を確認した。雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」の受付が開始されて一段落後、今年度の予算予定を詳細に検討して、具体案を作ることとなった。

(8)今後の予定

1月に編集委員会を開催する予定である。海外在住の編集者も含めて招聘し会議を行う。

以上